

自己評価結果公表シート

木津幼稚園

1、園の教育目標

<p>「明るく 正しい 賢い子」を建学の精神とし、「遊びの中・生活の中での言語」を教育の目標として日々の保育に取り組む。</p> <p>本園ではめざす幼児像として次の5項目を活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 1、心の教育 2、音感教育 3、自然教育 4、言語教育 5、体育遊び
--

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

<p>子ども達同士の会話や挨拶の強化、それに伴う言語能力の発達を見る。</p>

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
教育課程を幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	言語にかかわる絵本の構成などを検討
教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに考えて作成している。	時代や地域、子どもの実態に即した内容にするように努めている。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	大型遊具の導入により遊具を使って子ども達の言葉の交流を図る
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	各クラスで年間研究計画を立てクラス便りなどで報告し合うようにしている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どものよさを認め、教師が客観的に子どもを見る目を養うように努めている。
あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊び、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を準備するようにしている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行なう。	登園から降園までの一日の流れの中で、身に付けてほしい生活習慣の獲得を促している。
全職員が年に1回以上公開保育を行なう。	各教職員が公開保育を行い、保育を見てもらう事によって、よりよい保育環境を意識できるようにしている。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	各種研修会や研究会に参加するように勤める。 ブレインストーミングを行い、活発な意見を園内研修にて取り入れる。

園だよりや合同研修会をとおして幼稚園の情報を発信していく。	園の取組を情報発信するように園だよりやホームページに記載し、積極的に取り組んでいく。
園の財務状況を積極的に公開する。	公認会計士より適正に処理されているとの報告を受けている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	<p>経験年数が多い先生ほど自分に厳しく思うように点数が伸びない。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができるように努力を積み重ねるようにする。</p> <p>保護者アンケートにより昨年度の重点項目についておおよそ達成できた回答を得られる。</p>

5、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
自己点検、自己評価	ブレインストーミングを行ったが、事前打ち合わせの少なさを指摘される。時間の調整などの課題がある。
コミュニケーション	職員同士のコミュニケーションをもう少し活発にする必要がある。 保護者会とのコミュニケーションももう少し密にする必要がある
集会	集会の回数が減っているので適宜行う必要がある。

6、学校関係者の意見

<p>言葉の発達と共に心の成長が顕著に見られる。人を思いやる心、労わる心、人の気持ちを引き出す心、そして子供同士協力する心が見られる。益々子供同士、又教師と子どもが係わり言語教育に力を注いで下さい。(学園理事会)</p> <p>家でもすすんで挨拶する姿が見られる。総じて良しとする。(母の会)</p>
--